



飼料用米でもイネカメムシの 出穂期防除を徹底しましょう！

イネカメムシの被害は斑点米だけではありません

イネカメムシは
出穂期に加害

**不稔で
収量が低下**



イネカメムシによる不稔防止には **出穂期防除が必須**

イネカメムシは、出穂期頃の稲穂を好んで加害します。
このため、出穂期の防除が行われていないほ場
(飼料用米ほ場等)、周囲より出穂が早いまたは遅い
品種のほ場は、集中加害のリスクが高くなります。
収量、品質を守るために地域ぐるみで防除を実施しましょう！

7月下旬～8月 →	出穂期	穂揃期	乳熟初期	乳熟後期以降 →	収穫後
(1) 発生初期の把握	(2) 薬剤防除の実施				(3) 耕うん
イネカメムシ 対策	薬剤散布 1回目	7～10日後	薬剤散布 2回目	追加防除 3回目	秋耕
	不稔 防止		斑点米 防止	7～10日後 斑点米 防止	生息場所 除去

図 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除対策の体系

！注意！

「水田活用の直接払交付金」を申請している生産者は、飼料用米の収量が地域の基準単収を大きく下回ると理由書の提出が必要です。